


The legend of OBASAN



ここにいます
「がん電話情報センター」
あなたの知るを助けます

ancer

(全国一律の電話料金でご利用いただけます。
PHS、一部のIP電話からはご利用いただけません。)

おーこここにじょうほう
0570-055224
受付時間：平日 12:00~17:00
(土日・祝祭日・年末年始・夏期休業を除く)

通常、時間の流れのイメージは「水平にすうっと流れて行く」、だろつか。そのイメージ、子どものころ目にして続ける「歴史年表」によって作られたと思う。

私はそれがこのところへ時間は横に流れるのではなく、積み重なって行く」と感じるようになった。太古から今に至るまでの世界の歴史。人が生まれて成長してやがて老齢となる、人生。もちろん、その「時」は横に流れない。

私は最愛の息子を彼が15歳の時に喪った。だが、今も私はあの子の母親であるという意識が変化しない。それなのに彼を喪った悲しみも、彼の母であるという意識と同時に存在している。流れ去らないから、消え去らな。

何かをしていこう、その「している」とは全く関係ない情景が頭に浮かび、消えることがある。

「伝説のおばさん」のオススメ 7

「時の堆積」が与えること

Akiko Hashimoto



る。たとえばがん電話情報センターで相談電話が鳴った瞬間、近所にいた優しい花好きのおばあちゃん顔が浮かんで、穏やかな気分になる。あるいは、京都の鴨川で美しい夕焼けを見ているとき、なぜか北朝鮮に拉致されて帰れないでいる人達のことばかりよぎってせつなくなる。それが、「時の堆積」が与えることではないか。そんな時、私という人間の表情はどうなっているのだろう。

言い換えれば「時は流れ去って行ってくれない」。だから、無数の悲しみを作り出した戦争も、どこかで意図的に行なわれた謀略も、私達の下に事実として積み重なっている。

とこころで、この年齢になってやっと少しは自分の行動を律することができるようになった。だから、これから重なる「時」の上澄みに、ほっこりとにじみ出るような過ぎし方をしたいものだ。とは思うが、ちょっと疲れていたものだから、昨日も同居人に手厳しく八つ当たりしてしまった。10年後にふと自分で思い出して、キツイ顔になるんだろうな、その瞬間。



NPO法人血液情報広場・つばさ理事長、
がん電話情報センターCTIS相談主任、
日本骨髄バンク(骨髄移植推進財団)常任理事

橋本 明子